

地場産農作物の利用推進事業に係る打合せ会議録（要旨）

1. 日時 令和2年2月10日（月） 午後4時30分～午後5時50分
2. 会場 江別市立学校給食センター2階会議室
3. 団体 (株)ふれあいファームしのつ、ナイスエコファーム、(株)輝楽里
JA道央江別営農センター、江別市立学校給食センター、江別市農業振興課

4. 議事

(1) 令和2年度の品目取り決めおよび価格調整について

昨今の資材費等の上昇や、ここ数年価格を据え置いてきたこともあり、各生産団体への事前聞取りの中で全体に2%の値上げの提案があり、一部の野菜を除き提案通り値上げすることとなった。

また、各団体から一部の野菜について納入時期の短縮の希望が出されたが、年により状況も異なることから、短縮を希望する月については事前に確認をすることとなった。

①白菜

- ・7月の納入については事前に確認。

②ブロッコリー

- ・10月の輝楽里の納入分については事前に確認。

③ピーマン

- ・10月の納入については事前に確認。

④寒玉キャベツ

- ・生産団体から、1～2月の価格が現行では厳しく、別途検討して欲しい旨の要望があり調整した。

⑤ズッキーニ

- ・8月の納入については事前に確認。

⑥ヤーコン

- ・当初、生産団体側では一部Mサイズの納入も希望していたが、調理の都合上、原則Lサイズ以上の納品とすることで調整した。

⑦パプリカ

- ・そもそもの価格がパプリカより廉価な赤ピーマンのものであるとのことで、改めて調整した。

⑧メイクイン

- ・2月納入可能、3月の納入については事前に確認。

《裏面あります》

⑨人参（土付き）

- ・生産団体から、納入時期により異なる単価を統一して欲しい旨の要望があったため、前年度使用量を元に平均をとり、統一単価とした。

（２）地場産野菜の納入に係る留意事項等について

昨年と特に変わりなし。天候不順等で納品できないと予想した場合等は、速やかに地場産担当または担当栄養士へ連絡のこと。

（３）その他

①玉ねぎの冬場の納品について

- ・生産団体から冬場は配送先が給食センターのみとなるため、配送コストの面からも納品日をまとめるなど調整することはできないかとの要望あり。学校給食の食材としては対応するのは難しい旨説明。

②納品見込を使用月の２か月前までとすることについて

- ・生産団体から野菜の品目を増やすためには条件の緩和も必要ではないかとの意見あり。献立作成、給食だより作成等に係り、これについても対応は難しい旨説明。

③冷凍かぼちゃについて

- ・生のかぼちゃを冷凍したものを給食で使用できないかとの提案あり。

それぞれの立場はあるが、地場産野菜使用拡大に向け、引き続き検討して行くこととする。